



ため池ハザードマップ 【保存版】

よさえもんいけ 与左工門池

RESERVOIR HAZARD MAP



● 与左工門池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

● 浸水の深さによって、避難方法は異なります。

- 浸水しない場所（避難所、道路、空き地など）
- 自宅の2階、危険のない近くの高い建物
- 自宅にとどまる

● いざという時の連絡先（TEL）

綾川町	防災担当	087-876-1906
警察	事件・事故の通報	110（局番なし）
消防	火事・救助・救急	119（局番なし）
災害用伝言ダイヤル	災害時の安否確認	171（局番なし）

● 防災情報メール（登録無料）

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kikikanri/sogo/bosaijoho/main.html>

避難指示などの情報が、登録しておくだけで携帯電話のメール等へ自動的に配信されるサービスです。これまでの「避難情報配信サービス」をリニューアルし、平成26年4月から「防災情報メール」の配信を始めました。避難情報配信サービスをご利用になられていた方も、改めて登録が必要です。

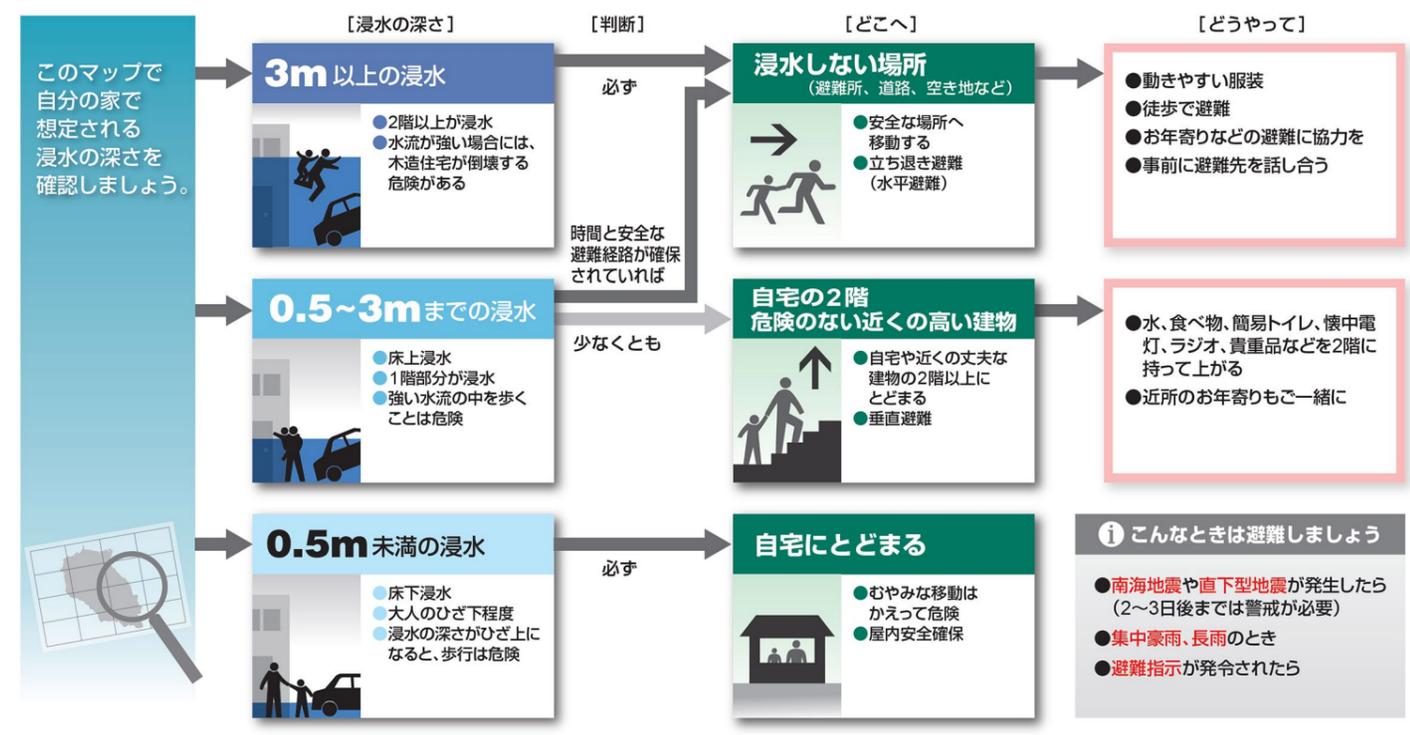
綾川町
作成/令和7年2月 綾川町 経済課
〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町蒲宮 299 番地

状況に応じた避難をしよう



ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ 命を守るための基本行動

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。いざというときに、どのように行動するのか、家族や地域で確認しましょう。



ため池決壊について知ろう

ため池決壊の原因（地震と大雨）

地震 本マップの対象ため池周辺では、南海トラフの最大クラスの地震によって震度6弱の揺れが予測されています。また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。

南海トラフの最大クラスの地震 M9.0
香川県震度分布図 (H25.3.31)

凡例
● 震度6強
● 震度6弱
● 震度5強

大雨 集中豪雨や長雨によって、ため池の水位が上昇することで、ため池決壊のおそれがあります。

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。ため池決壊と同様に注意が必要です。

地震 [地震のあと]に想定される災害
津波、建物倒壊、火災、液状化、ため池はん濫、土砂災害、内水はん濫、河川はん濫

大雨 [大雨のとき]に想定される災害

※対象ため池周辺では、津波のおそれはありません。

ため池決壊の起こり方と、その被害

- 南海地震や直下型地震で、堤防が破損する。
(地震同様に、大雨の際にも堤防が破損するおそれがあります。)
- 破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壊」
- ため池決壊による被害
・ 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
・ 山津波、内陸部における津波とも呼ばれています。
・ 建物や車は押し流されます。
・ 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

※満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

災害事例

地震 一 福島県須賀川市
東北地方太平洋沖地震（平成23年3月11日）による震度6弱の揺れで、藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者8名を出す被害となりました。
・ 長時間の強い揺れによって、地震直後に決壊。
・ 田植え前で満水状態であった貯水が、全て流出した。
・ 下流の集落に濁流となって押し寄せた。

大雨 一 香川県
近年、香川県では大規模ため池の決壊による被害は出ていませんが、未改修の中小規模のため池を中心に、堤防に亀裂が入るなどの被害が出ています。

町からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう

土砂災害や洪水時には、警戒レベルに応じて避難しましょう

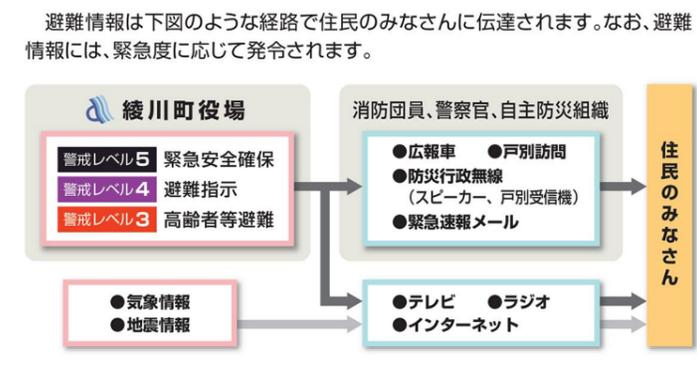
警戒レベル5では、すでに災害が発生している状況です。
警戒レベル3や警戒レベル4の段階で、声をかけあって避難しましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
高	5 災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
危険度	4 災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
	3 災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
	2 気象状況の悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報 (気象庁)
低	1 今後気象悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

警戒レベル4までに必ず避難！

警戒レベル5は、市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令されるとは限りません。
警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

避難情報の伝達経路



あらかじめ非常持出品を準備しましょう

- 情報収集に必要なラジオ、携帯電話、夜間の避難に必要なライト
- 貴重品 (免許証、健康保険証のコピー、現金、通帳、印かん)
- 当面の衣類、タオル、ウェットティッシュ
- 頭を守るためのヘルメット、防災ずきん
- 3日分程度の食料や水
- 常備薬などの医療品
- (その他) マスクなどの感染症対策用品、軍手、予備の乾電池、メガネ、ライター、乳幼児がいる家庭ではオムツ、哺乳瓶 など